

水産廃棄物からのセラミド誘導体の抽出

メタデータ	言語: Japanese
	出版者: 水産総合研究センター
	公開日: 2024-06-04
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 齋藤, 洋昭
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2006868

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



水産廃棄物からのセラミド誘導体の抽出

利用化学部

研究の背景・意義

- 1．セラミドは、皮膚の健全性、特に保湿性に有効
- 2．化学合成品も化粧品に使用
- 3．水産生物由来のセラミドが開発されると、安全で化粧品に最適

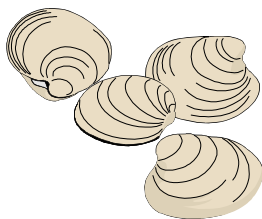
研究成果

- 1．深海性ソコダラ類の内臓や皮（廃棄物中）に相当量のセラミド誘導体（スフィンゴミエリン）を発見
- 2．真珠を収穫した後、捨てられるアコヤガイ軟体部にも、相当量のセラミド誘導体（セラミドアミノエチルホスホン酸）を発見

波及効果

- 1．有用で安全なセラミドの供給が可能
- 2．水産廃棄物の減量化が可能となり、環境負荷は小
- 3．セラミド抽出後に排出される2次廃棄物を、高品質ミールへ再処理・転換利用することも可能

水産廃棄物

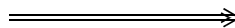


廃棄物の減量化

（フィッシュミールの製造）



探索・開発



安全で有効な化粧品の開発

（セラミドの製造）

